

科目名	救急対応 1							年度	2026	
英語科目名	First aid and Emergency response 1							学期	前期	
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制	1年次	必/選	選 1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	本郷		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 本科目では、JSP0-ATの役割における「救急対応」の位置づけを理解したうえで、医療資格保持者に引き継ぐための現場で出来る最高レベルの救急対応ができる実践的な知識、態度や技術を習得することをねらいとする。 合わせて、スポーツ活動現場における救急対応の特性と意義を理解することをねらいとする。										
【科目の概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ現場における救急対応の重要性やその体制構築におけるJSP0-ATの役割 ・救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、法的留意 ・スポーツ活動現場における救急体制構築や緊急時対応計画の立案に必要な要素 ・緊急性を判断するための的確な方法を活用し、JSP0-ATの役割における救急対応 ・重症度や外傷、内科的疾患に応じた救急対応 ・競技・種目特性に応じた緊急時対応計画の計画や救急対応 										
【到達目標】 A: 救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、法的留意 B: スポーツ現場での緊急性を判断と緊急時対応計画、JSP0-ATの役割における救急対応 C: 競技・種目特性・症状に応じた緊急時対応計画の計画や救急対応										
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	実践できる			説明ができる					理解している	
到達目標 B	実践できる			説明ができる					理解している	
到達目標 C	実践できる			説明ができる					理解している	
到達目標 D										
到達目標 E										
【教科書】 テキスト										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 テスト・レポート・平常点										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		救急対応1			年度	2026
英語表記		First aid and Emergency response 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スポーツ現場と救急対応	スポーツにおける救急対応の理解	1 スポーツ現場における救急対応の実際	救急対応の重要性を理解する	1	
2		JSP0-ATとしての救急対応の理解	1 救急対応とJSP0-AT	JSP0-ATとしての倫理や法的留意点を理解し、実際の救急対応について説明できる	2	
3	救急対応の考え方	救急対応の意義と考え方を理解する	1 救急対応の意義と倫理	救急対応の考え方と倫理を理解する	2	
4		緊急時対応計画の理解	1 緊急時対応計画(EAP)	緊急時に必要な備品や行動を理解し、計画を考えることができる	2	
5	スポーツ活動現場における救急体制構築の留意点と計画	JSP0-ATとしての救急対応時の役割を知る	1 救急体制構築におけるJSP0-ATの役割	JSP0-ATの役割を知り、救急体制構築を考えることができる	2	
6		手順に沿ったEAPの作成	1 EAPの作成	体制構築を理解し、計画を作成することができる	2	
7		EAPの活用	1 EAPの活用	事故発生時の救急対応に向けて行うべきことを理解し、手順に沿ってEAPを活用することができる	2	
8	内科的疾患に対する救急対応	心停止	1 病態と医学的留意事項	心停止の病態を理解する	1	
			2 救急対応	救急対応の流れを説明できる		
9		熱中症	1 病態と医学的留意事項	熱中症の病態を理解する	1	
			2 救急対応	救急対応の流れを説明できる		
10	その他スポーツで見られる内科的疾患	1 病態と医学的留意事項	スポーツで見られる内科的疾患の病態を理解する	1		
		2 救急対応	救急対応の流れを説明できる			
11	各競技における救急体制の実際	各競技の種目特性を理解/救急対応の進め方	1 陸上競技	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する	1	
			2 ラグビー	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
			3 アメリカンフットボール	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
12		各競技の種目特性を理解/救急対応の進め方	1 サッカー	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する	1	
			2 野球・ソフトボール	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
			3 バスケットボール	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
			4 バレーボール	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
13		各競技の種目特性を理解/救急対応の進め方	1 体操	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する	1	
			2 柔道	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
			3 テニス・バドミントン	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
14		各競技の種目特性を理解/救急対応の進め方	1 水中競技	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する	1	
			2 氷上競技	競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する		
	3 雪上競技		競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する			
	4 障がい者スポーツ		競技特性を考慮した救急体制、EAPの実際を理解する			
15	まとめ	状況・競技を考慮した救急対応の実際・計画	1 計画立案	臨機応変な救急対応の立案ができる	1	
	2 シミュレーション		臨機応変な救急対応が実践できる			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等